

群青の風

題字／岐阜医療科学大学 学長 山岡一清様

第 24 号
令和7年2月20日

発行

岐阜医療科学大学 同窓会

ご挨拶

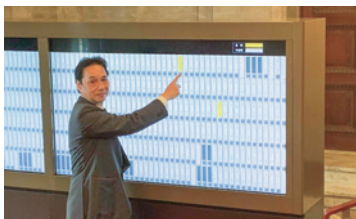
会長 畦元 将吾

新春のお喜びを申し上げます。皆様にとりまして、希望に満ちた一年の幕開けとなりますよう、心よりお祈り申し上げます。昨年も母校を巣立った多くの卒業生が、臨床検査技師、診療放射線技師、看護師、助産師として幅広い職種で活躍され、母校の名を社会に刻み続けている姿に深い誇りを感じております。同窓会会長として、そのご努力に心から敬意を表し、感謝申し上げます。

昨年、私は衆議院議員としての職を離れる結果となりました。皆様から頂いた温かいご支援とご期待に十分お応えできなかったことを、ここに深くお詫び申し上げます。しかし、医療現場の改善や職種における課題解決を進めるためには法改定や立法が必要であり、現場で働く先生方と協力をしながら、これまで築いてきた経験と信念を基に、同窓会会長としての職務と並行し、来る時に備えて政治活動を続けていく所存です。

議員活動を振り返って

国会議員としての活動を振り返ると、診療放射線技師初の国会議員として、様々な成果を残すことができたと感じております。特にコロナ禍では、医療従事者の現場負担を軽減し、その貢献を適切に評価するための施策を推進してまいりました。例えば、濃厚接触者として認識される職種への慰労金支給や、ポータブルX線装置やCTの導入助成金の支援は、その一環です。また、アルツハイマー型認知症の確定診断に不可欠



なアミロイドPETの保険償還を実現したことや、がん治療対策のための予算獲得を促進したことも大きな成果と考えております。

さらに、カーボンニュートラルの実現に向けて国内・国外への視察を通して地域の要望に耳を傾け課題解決に取り組み、日本において喫緊の課題である子育て世代や共働き世代の支援にも取り組んでまいりました。これからの若い世代の未来を支える政策に注力し、政治活動を通じて貢献していきたいと考えています。

岐阜医療科学大学の発展と建学の精神

母校である岐阜医療科学大学は、現在も輝かしい実績を重ねています。多くの在学生が全国的な大会や学術発表で成果を収め、大学の名をさらに高めています。こうした成果は、創立以来受け継がれる「優れた技術は、人に幸福をもたらす」という、誤れ



る技術は、人に災いをもたらす」という建学の精神の賜物であり、この教えを体現する人材を輩出し続ける大学の努力の賜物です。

技術は人が造り出すものだからこそ、技術者たる前に「よき人間たれ」という精神は、時代を超えて重要な教訓です。これからも、この精神を胸に、それぞれの場で人々の幸福に貢献する卒業生がさらに増えていくことを願っています。

結びに

岐阜医療科学大学は、社会的に非常に価値ある教育機関であり、未来を切り拓く多くの人材を輩出しています。その発展はこれからも続くことでしょう。母校の一員として、その発展を心から願い、同窓会の活動を通じて引き続き貢献してまいります。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

新役員

あいさつ



森 大成

この度、新役員を務めさせていただきますことになりました。卒業後、森大成と申します。卒業後、岐阜県岐阜市にある、ぎふ総合健診センターに就職し、現在四年目を迎えました。

私が勤務するぎふ総合健診センターでは、精度の高い、心のこもった健診・測定サービスを提供し、感謝され、信頼され、満足されることを目指しています。その中で私は主に巡回健診を担当し、岐阜県各地で健診業務を行っています。

同窓会役員の仕事は初めてのことで、慣れないことも多いですが、これから何事も積極的に取り組み、今後の母校の発展と同窓会の充実に貢献できるように務めたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

同窓会子女の皆様に

入学準備金10万円を給付します。

目 的：同窓会正会員の子女の入学に関する経済的負担を低減
同窓会会員子女の本学への就学支援

給付要件：(1)本学同窓会正会員の子女であること。
(2)本学が設置する大学院・学部・専攻科に新たに入学する子女であること。
(3)本学同窓会正会員、又はその配偶者が当該子女を扶養していること。
(4)給付回数は子女1名につき一度までとする。

準備金の額：採用者1名につき10万円

ただし、採用者が6名以上の場合は、減額して支給

お問い合わせ先：obog-info@u-gifu-ms.ac.jp

同窓会名簿管理システム導入のご案内

この度、「岐阜医療科学大学同窓会名簿管理システム」の運用を開始することとなりました。同封の『ご利用の手引き』をご確認の上、ご対応いただきますようお願い申し上げます。

昨今のICT技術の進歩・普及に伴い、同窓会では、ホームページを通じて同窓会員の皆様が情報の更新や閲覧を行えるシステムを採用しました。このシステムでは、各会員専用のユーザーIDとパスワードを用いてログインし、ご自身の情報を管理・更新していただけます。

なお、個人情報保護の観点から、機能面および運用管理面で十分なセキュリティ対策を講じております。会員の皆様にとって有益なシステムとなるよう、引き続きシステム運用の改善に努めてまいります。

何卒、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

令和6・7年度役員名簿

	役員	氏名	フリガナ	卒業年	勤務先
重任	会長	畦元 将吾	アヰモト ショウゴ	国R4	前衆議院議員
重任	副会長	福澤 大樹	フクザワ タイキ	短N15	学校法人神野学園 岐阜医療科学大学
重任		乙訓 貴之	オケニ キノリ	短M22	学校法人神野学園 岐阜医療科学大学
重任	会計	杉浦 明弘	スギウラ アキヒロ	短R18	学校法人神野学園 岐阜医療科学大学
重任	書記	西田 知弘	ニシダ トモヒロ	短R12	JA岐阜厚生連岐阜・西濃医療センター 西濃厚生病院
重任		上平 公子	カミラウ キミコ	短N2	学校法人神野学園 岐阜医療科学大学
重任	監査	奥田 大輔	オクダ ダイスケ	短R12	郡上市民病院
重任		中山 章文	ナカヤマ アキフミ	国M7	学校法人神野学園 岐阜医療科学大学
重任		野末 波輝	ノヘミ ナミキ	大N5	学校法人神野学園 岐阜医療科学大学
新任	広報	森 大成	モリ タイセイ	大R12	一般社団法人 ぎふ総合健診センター
重任		南 武志	ミナミ タシ	短M18	学校法人神野学園 岐阜医療科学大学
重任		若林 愛弥	ワカバ ヲシ メグミ	大N3	学校法人神野学園 岐阜医療科学大学
重任	事務局	山田真由美	ヤマダ マユミ	大R8	社会医療法人厚生会 中部国際医療センター

令和5年度

事業報告

会 議

4月役員会

令和5年4月26日 19:00～

母校 同窓会室 ZOOM 出席8名、委任状2名

審議事項

1. 令和5年度図書助成について

5月役員会

令和5年5月24日 19:00～

母校 同窓会室 ZOOM 出席8名、委任状2名

報告事項

1. 令和5年度会報について
2. 50周年の同窓会記事の進捗について
3. ホームページ更新について

審議事項

1. 令和5年度同窓会会員子女入学準備金給付について

7月役員会

令和5年7月26日 19:30～

母校 同窓会室 ZOOM 出席7名、委任状1名

報告事項

1. 会報について
2. GUMS学術フォーラム開催について
3. 大学による会計監査について
4. 岐阜医療科学大学創立50周年式典へ

の同窓会員への案内と参加について

審議事項

1. 代議員の追加について
2. 母校からの卒業生アンケート調査について

9月役員会

令和5年9月20日 19:00～

母校 同窓会室 ZOOM 出席8名、委任状3名

報告事項

1. 50周年式典について

審議事項

1. 会報発行の記事内容について

11月役員会

令和5年11月29日 19:00～

母校 同窓会室 ZOOM 出席者8名、委任状4名

報告事項

1. ホームページ更新について
2. 会報の発行進捗状況について
3. 卒業記念品と国試補助副食準備について

審議事項

1. 会員情報システムの導入について
2. 会費納入時期の変更について
3. 同窓会開催について(メール審議)

1月役員会

令和6年1月24日 19:00～

ZOOM 出席者7名、委任状5名

報告事項

1. ホームページの更新について
2. 会報発行状況について
3. 同窓会名簿電子化システム導入に向けて
4. 図書助成について
5. 国家試験副食助成について
6. 卒業記念品について
7. 会費徴収について

審議事項

1. 能登半島地震義援金について

3月役員会

令和6年3月27日 19:00～

母校 同窓会室 ZOOM 出席者6名、委任状5名

報告事項

1. 会報の不達状況について
2. 会報費用の振込について
3. 図書助成の振込について
4. 卒業記念品配布について
5. 卒業記念品費用の振込について
6. 祝電について(母校 卒業式・入学式)

審議事項

1. 令和6年度事業計画(案)について

活 動

1. 会報「群青の風」第22号

12月27日 8,651通投函

群青の風冊子等郵送、及び返送会報のデータ化。

1,303,500円

2. 母校への寄贈図書

令和5年度図書の助成について図書館の充実を図るために助成している。選書ツアーを定期的に開催し、各学科の学生により選書が行われている。
498,349円 手数料440円

3. 国家試験会場での副食配付

全学科全学科額面500円のクオカードの支給となった。支給内訳はM 85枚、R 113枚、N100枚、助産18枚であった。

169,640円分購入 代引き手数料含む

4. 卒業生へ卒業記念品の贈呈について

『仕分け収納ポーチ』を贈呈した。

内訳は315個(M85個、R113個、N100個、NW18個、MHM5個、予備1個)であった。

176,022円 手数料440円

5. 同窓会子女入学準備金給付

資格審査を行い3名の会員に給付した。

300,000円 手数料1,760円

6. 同窓会助成金

本年度の助成は2件でした。45,552円

手数料880円

7. 慶弔

祝電2件。3,795円でした。

8. 会員データのクリーンアップ

総 括

令和5年度は、岐阜医療科学大学創立50周年式典を母校とともに実施し、成功裏に終えることができました。50年という大きな節目を迎えられたのも、偏に会員の皆さまのご支援の賜物であり、心より深く感謝申し上げます。

その他の活動については例年通り、会報の発行や寄贈図書の提供、国家試験会場での副食配付、卒業生への卒業記念品の贈呈、同窓会子女への入学準備金給付、図書助成、同窓会開催助成を行いました。これらの活動を通じて、同窓生の皆さまとの絆を深めることができ、大変うれしく思っております。

令和5年度決算報告・令和6年度予算報告

	項目	令和5年度予算	備考	令和5年度決算	備考	令和6年度予算	備考
収入の部	繰越金						
	手持現金	28,386		28,386		65,042	
	普通預金	3,548,356		3,548,356		4,080,693	
	定期預金	20,000,000		20,000,000		20,000,000	
	会 費	4,050,000	15,000円×270名	3,435,000	15,000円×229名	3,750,000	15,000円×250名
	雑 収 入	0		240,000	50周年会費、QUOカード購入	160,000	QUOカード購入
	寄 付 金	0		0		0	
	定期利息	500		272		300	
	普通利息	50		108		100	
	合 計	27,627,292		27,252,122		28,056,135	

支出の部	活 動 費	700,000	HP更新・学術フォーラム・研修会・名簿管理等	132,190	HP更新・学術フォーラム・研修会・名簿管理等	600,000	HP更新・学術フォーラム・研修会・名簿管理等
	会 議 費	100,000	役員会、幹事会	93,140	役員会、幹事会	100,000	役員会、幹事会
	交 通 費	100,000		57,500		100,000	
	慶 弔 費	20,000		4,620		10,000	
	通 信 費	1,400,000	群青の風発行、各種郵送	1,335,686	群青の風発行、各種郵送	1,950,000	群青の風発行、各種郵送、名簿管理サービス
	備 品 費	2,000,000	名簿管理システム構築	0		1,500,000	名簿管理システム構築
	消耗品費	50,000		4,004		50,000	
	助 成 費	1,600,000	書籍、副食配布、入学準備	1,382,563	書籍、副食配布、入学準備	1,700,000	書籍、副食配布、入学準備
	特 別 費	2,000,000	50周年事業	96,684	50周年事業	0	50周年事業
	渉 外 費	50,000		0		50,000	
	予 備 費	100,000		0		100,000	
	小 計	8,120,000		3,106,387		6,160,000	
	繰越金	手持現金		65,042		100,000	
		普通預金		4,080,693		1,796,135	
		定期預金		20,000,000		20,000,000	
	合 計	27,627,292		27,252,122		28,056,135	



令和6年度事業計画

令和6年度は以下の事業を実施する予定です。

1. 会報「群青の風」第24号の発行
2. 同窓会開催への助成
3. 同窓会子女入学準備金給付制度の運用
4. 会員データのクリーンアップ(管理システムの構築)
5. ホームページ運用
6. 入学式・卒業式への祝電ならびに会員の慶弔電報
7. 国家試験時の副食配付
8. 卒業記念品の贈呈
9. 図書館への書籍寄贈
10. 定例役員・幹事会・代議員会の開催
11. 卒後教育制度の実施
12. 第8回GUMS学術フォーラムの共催
13. 岐阜医療科学大学祭(岐療祭)の協力・支援
14. その他

これまで継続して行ってきた事業については、引き続き実施していきます。同窓会子女入学準備金給付制度の運用については、全会員に向けて広報し、複数の申請者がありました。本年度も積極的に活用していただく予定です。卒後教育制度やホームカミングデーの再開についても議論を進めて実施していきたいと思います。本年度は、会員情報の管理体制を見直し、会員の皆様へ電子的管理による新システム移行を案内いたします。

令和5年度 卒業記念品

令和5年度卒業記念品は、可児キャンパスの学生の声に応えた2件です。1件目はかなえる小径の外灯ランプ整備工事。外灯ランプを電球からLEDに交換したことで、暗かつたかなえる小径が明るくなり、暗さを感じることなく通行できるようにになりました。勿論、朝方まで点灯しているため、近隣住民の安眠に配慮した明るさとなっています。2件目は噴石階段修繕工事。階段の踏面をコンクリートで固め昇降を改善しました。修繕前までは、踏面は小石で敷き詰められていたため、滑ることもあり不安を感じていた学生も、この不安が払拭できたことと思います。



階段の踏面が
コンクリート打設されている。



夜になり
外灯が点灯された階段



日中のかなえる小径
(左)
外灯が点灯したかなえる小径(右)

学生生活について

最近の学生の様子について

平成30年4月、看護学部看護学科の1期生としてみなさんが入学されました。そして翌年の平成31年には、可児キャンパス(以下、可児C)が開設されました。この開設により、2年生になった看護学科の学生たちは、それまでの1年間を過ごした関キャンパス(以下、関C)から可児Cへと教育の場を移し、2つのキャンパスが誕生しました。令和2年には薬学部薬学科の学生が入学し、助産学専攻科の学生も加わって、現在の可児Cは2学部1専攻科のキャンパスとなっています。一方、関Cは昭和48年の開校以来の臨床検査学科(当時は臨床検査技師科)、昭和49年に開設された放射線技術学科(当時は診療放射線技師科)、そして平成28年にスタートした大学院保健医療学研究科の3つで構成されています。令和5年12月24日時点では、関Cに775名(女子学生54・1%)、可児Cには794名(女子学生71・2%)の学生が在籍しています。

関Cと可児C、それぞれの学生さんたちの雰囲気には、ちよつとした違いがあるように感じています。学生支援課のスタッフによると、関Cの学生さんは規律正しく、愛嬌たっぷり、学生支援課にもよく顔を出してくれるそうです。一方、可児C

の学生さんは言葉遣いがとても丁寧で、自分から行動できるタイプが多いとのこと。ただ、学生支援課に来る人数は関Cに比べると少なめのようです。ちなみに、2年前にキャンパス内コンビニで「もつと充実してほしい商品は？」というアンケートを行ったところ、関Cの学生さんからは食品(おにぎりやパンなど)のリュウズが多かったのに対し、可児Cの学生さんはスイーツやお菓子を望む声が多かったそうです。このあたりも、それぞれのキャンパスらしい特徴が表れていますね。

学生自治会は、昭和48年に関Cで誕生し、可児Cでは令和3年に新しく組織されました。最近の活動には、クラブやサークルの新入部員勧誘、自治会総会の開催、クラブ活動の補助金支給、岐療祭(10月の体育祭と11月の文化祭)の運営、七夕やハロウィン、クリスマスの飾り付け、謝恩会の企画・運営(令和5年度まで)などがあります。また、毎月1回のキャンパス美化活動も学生自治会が行っています。

卒業生のみならず、関市や可児市にお越しの際には、ぜひ母校にもお立ち寄りください。学生や教職員みなさんでおいでできるのを楽しみにしています！



可児C 学生自治会総会の風景



可児C 文化祭開幕直前の様子



関C 軽音楽部演奏

学部教員の紹介

保健科学部臨床検査学科

中山 章文 先生

教育について

私は主に「微生物検査学」を担当しています。この分野は専門用語や学名が多いため、苦手意識を持つ学生も少なくありません。そのため、実習では日常の検査で頻繁に扱われる細菌や真菌を幅広く取り上げ、実践的な学びを重視しています。また、ゼミの恒例行事として、卒業研究の締めくくりに「ばい菌アート」を制作しており、毎年学生たちが独創的な作品を仕上げてくれるのを楽しみにしています。

研究活動について

現在、「敗血症の迅速検査法の開発」をテーマに、奈良県立医科大学や産業技術総合研究所と共同研究を進めています。また、大学院生や社会人研究員に対しては、新規遺伝子検査法の開発やグラム陰性桿菌の薬剤耐性に関する研究指導を行っています。詳細は、Researchmap(<https://researchmap.jp/nakky>)をご覧ください。



メッセージ

学会や研修会でお会いする際には、ぜひお気軽にお声がけください。同窓生の皆さまとの再会を楽しみにしています。



保健科学部放射線技術学科

樫田 雄大 先生

普段は、学生に講義や学内実習・実験を担当しておりますが、医療現場で行う臨床実習の担当教員でもあります。本学の臨床実習病院である中部国際医療センターと本学がより連携を深める為、令和6年2月に包括連携協定が締結されました。その協定の一環として、連携放射線体験研究会を中部国際医療センターで開催して、通常の臨床実習でも経験することができない、高エネルギーX線治療装置および陽子線治療装置におけるビーム測定について、診療放射線技師の指導のもと体験できました。とくに、陽子線治療については県内唯一の治療施設であり学生にとってはとても貴重な体験ができました。施設の関係上、30名程度の定員でしたが、定員をはるかに超える応募があり、学生の関心度の高さも感じ、今後継続して研修会が開催できればと考えております。中部国際医療センターの担当していただいた診療放射線技師の皆様には、この場をお借りしてお礼申し上げます。



看護学部看護学科

佐野 理湖 先生

平素より、同窓会員の皆様からの温かいご支援とご協力に心より感謝申し上げます。私は、アメリカのウィスコンシン大学に留学し、研究と教育活動の経験を積みながら、看護学の博士号を取得しました。その後、コロラド大学で研究員として学際的研究に取り組み、現在に至っております。本大学では、アメリカでの研究経験をもとに看護学生のストレス軽減を目的とした研究を行っています。また、小児看護を担当し子供とご家族にとって最善の看護を目指した教育に取り組んでおります。地域医療に貢献できる心豊かな医従事者を目指した教育が提供できるように精進したいと思います。今後とも、ご支援賜りますようお願い申し上げます。



アメリカ合衆国 University of Wisconsin-Milwaukee College of Nursingにて、Sigma Theta Tau看護国際名誉学会、大学院奨学生表彰式の様子 (Sigma Theta Tau International Honor Society of Nursing, Eta Nu Chapter Graduate Student Scholarship)

薬学部薬学科

伊藤 哲朗 先生

同窓会員の皆様、平素より温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

私は岐阜薬科大学で学位を取得後、製薬会社での勤務、岐阜県庁での行政業務、そして岐阜薬科大学およびワシントン州立大学での教育・研究活動を経て、現在に至っております。

大学では「自然が生み出す薬物」に関連する生薬学分野の科目を主に担当し、全学年の学生と知識や経験を分かち合っております。また、薬学課程の実務実習では、チーム医療を通じて同窓生の皆様から多くのご指導を賜り、その中で教員としても成長を実感しております。

研究においては、生薬学分野に配属された学生と協力し、医薬先導化合物の探索、天然素材の食毒境界解析、規制対象薬物の分析法開発などに取り組んでおります。また、薬物乱用防止対策の推進にも力を注いでおります。

2026年度には薬学第一期生の輩出を迎える予定です。地域医療をリードする人材の育成に引き続き努めてまいりますので、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。



薬学科・生薬学分野の教職員(前3名・筆者は中央)と配属された学部学生(4年生・5年生)

可児キャンパス薬用植物園にて。背景はカワラヨモギ [キク科] (頭花を生薬・茵陳蒿 [イチョウ科] として漢方で用います)

同窓会を開催しました

国際医学総合技術学院M科7回生の1組、2組の合同同級会(2024年7月14日(日)開催)

三宅先生、只野先生、島澤先生、学校事務担当の山田(渡辺)ひとみ様のご臨席を賜り、国際医学M科7回生の1組・2組合同同級会を開催しました。今回は、家族の介護や地域の行事などでお忙しい中、遠くは奄美大島、熊本、福岡、長崎、また1月の大地震に見舞われた北陸地方など、西日本を中心に1府19県からご出席いただきました。案内状を137名に送付し(回収率87.5%)、その中で42%、56名が出席されました。

前回の同級会(平成27年開催)を終えた際には、5年後の還暦を迎えた年に同級会を開催する予定で企画しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、前回の同級会から9年ぶりの開催となりました。還暦で定年退職された方や、現在も職場で活躍されている方など、それぞれ近況報告を行ったり、学生時代の思い出やエピソードで盛り上がり、たくさんの笑顔に包まれました。約43年ぶりに再会する方もおり、「参

加して良かった」「楽しかった」といった声を多く頂き、幹事として企画して本当に良かったと感じました。

翌日は、有志約12名で関市まで足を延ばし、学校見学や学生時代に住んでいた寮などを巡りました。すっかり変わってしまった街並みや、約40年前と変わらない風景に驚いたりして、懐かしさを存分に味わうことができました。次回の同級会でも、皆さんの笑顔と再会できることを楽しみにしています。



同窓会助成金運用規程

(目的)

第1条 この規程は、岐阜医療科学大学同窓会(以下同窓会という)会則第4条第2号並びに第4号に基づき、本同窓会助成金運用規程にてらし助成金運用を図る。

(適応範囲)

第2条 会員相互の親睦事業が有意義に、また、友好に活動できるよう助成をし、適応範囲については以下の項目を満たしていること。

1. 卒業科・卒業回生が同じであること(卒業科・卒業回生の重複は可能)
2. 都道府県・市区町村単位であること(都道府県・市区町村の重複は可能)
3. 前記1. 2. の申請があった場合、参加枠の外れた同窓生の参加も可能
4. 申請により同窓会役員会若しくは幹事会で承認されたもの

※各項目のいずれかに該当すればよい

(義務・助成支出条件)

第3条 助成金の支出にあたり以下のものを提出すること。

1. 参加者の卒業学校・卒業回生・氏名・所属先・住所
2. 全員で写った写真
3. ホームページや機関誌に載せる原稿
4. その他、同窓会事務局からお願いしたもの

(助成範囲)

第4条 適応範囲・第2条の詳細として助成範囲を以下のものとする。

1. 参加募集数に対し1割以上の参加の場合
2. 参加人数が最低10人以上の場合(クラス単位は2割の出席)
3. 同一事業で助成できるのは年度に付き1回までとする
4. 会員参加者の中の施設数は8カ所以上とする
5. 申請により同窓会役員会若しくは幹事会で承認されたもの

(助成金)

第5条 助成金は以下のものとする。

1. 参加募集通信費実費(葉書・封書等に関わる実費)を助成する。参加者においては1人につき、金1,000円助成する
2. 卒業生の定年対象年又は定年後1回に限り助成金を2,000円とする
3. その他の活動の場合、同窓会役員会若しくは幹事会にて決定をする

(雑則)

第6条 この規程の定めるもののほかの特例な事由が生じた時は、役員・幹事会で協議決定をする。

第7条 この規程は幹事会の議決を経なければ変更することができない。

附則 この規程は平成22年4月1日より施行する

附則 この規程は平成27年5月28日より施行する

岐阜医療科学大学大学院の紹介

保健医療学研究科長 田中 邦彦

平成28年4月に大学院が開学いたしました。専門学校、短大、4年制大学と変遷・成長を遂げてきた本学に大学院が加わり、教育機関としてのみならず、研究機関としてさらなる発展を目指しております。令和6年現在、臨床検査技師8名、診療放射線技師12名、看護師38名、合計58名が入学してまいりました。開設当初は現場経験を長く積まれた方々がほとんどでしたが、近年では卒業後間もない方々の入学も増加しております。いずれも社会人として忙しい日常業務の中、さらなるキャリア・スキルアップを目指し、職場や家族のご理解のもと講義を受け、研究を進めておられます。本学卒業生が多く入学されていることを非常に喜ばしく、また頼もしく感じております。

研究テーマはそれぞれの職業や経験を背景とした内容が多く、1年次の中間発表会や論文審査を行う公聴会では、多様な



内容に関する発表や質疑応答が熱く交わされております。本学のさらなる発展、世界の人々の健康増進、そして同窓会の皆さまの日々の充実感の増大に貢献できるよう、ご指導・ご支援、そして入学を心よりお願い申し上げます。詳細は、大学ホームページをご覧ください。

定年退職のご挨拶

保健科学部臨床検査学科 森田 城次

タンパクや遺伝子のcapture、MSやsequenceには長足の進歩があります。しかし遺伝子変異や特定遺伝子の発現と病理診断を繋いでいる状況です。MSとて同様です。昭和の時代、タンパクを知らない者がやることだと言われました。遺伝子配列決定でさえ、酵素法に疑問が持たれていて、後のショットガン法も然りです。では今、化学法で行っている方はいますか。シャークコームを使いlongを読んでいる方はいますか。GeneChipを否定しスタンフォード式で自らスポットしている方はいますか。当時、PCRに至ってはTaq発見前ですの



(文科省⇒三重大学⇒本学⇒ライダー)

編集後記

群青の風をお読みいただきありがとうございます。ありがとうございます。

本学創立50周年から早くも1年が経ちましたが、本学の目覚ましい発展と卒業生の活躍は、同窓会としても大変喜ばしい限りです。

さて、今年の同窓会活動としては、ICT化に伴い、本学同窓会名簿

管理システムの導入を行い、本会ホームページからアクセスしやすくなりました。今後皆さまに愛される同窓会を目指してまいりますので、ご意見などがございましたら、同窓会事務局までお知らせいただけますようお願いいたします。

同窓会役員 西田 知弘 記